

HINDU GODS AND GODDESSES ACROSS TIME

インド独立75周年・日印国交樹立70周年

# 神々の物語

# ヒンドゥー



変化自在!

2022.7/16 土 → 9/11 日

岡山市立オリエント美術館

開館時間 | 9:00~17:00 ※入館は午後4時30分まで

休館日 | 月曜日 ※7月18日(海の日)は開館し、7月19日(火)は休館

入館料 | 一般1,000(800)円、65歳以上の方・高校/大学生800(600)円、小中学生500円

※( )内は前売り料金、20名以上の団体は各200円引 ※障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料 ※その他各種割引は当館へお問い合わせください。  
※前売券は当館受付、当館周辺ギャラリー、フレイガイド、コンビニ店頭でお求めください。  
セブンチケット(セブコード095-696) / ローソンチケット(レコード61318) / チケットぴあ(Pコード686-120) ※前売券の販売は7/15までです。

主催 | 岡山市立オリエント美術館、RSK山陽放送

協力 | 在大阪・神戸インド総領事館

後援 | 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、公益社団法人岡山県文化連盟、岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術館友の会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、中国新聞備後本社

特別協賛 | 株式会社 岡住 FAVOL



16 July - 11 September 2022/2022 Venue: Okayama Orient Museum (9-31 Tenjin-cho, Okayama City, Japan)

Open 9:00 - 17:00 (Last admission is 30 minutes before closing) Closed on Monday (Open on 18 Jul Mon., closed on 19 Jul Tue)

Tickets: Adult ¥1,000 (800), 65 or older, College and High school students ¥800 (600),

Elementary and junior high school students ¥500

(\*) shows a price for an advanced ticket or an individual in a group of 20 or more.



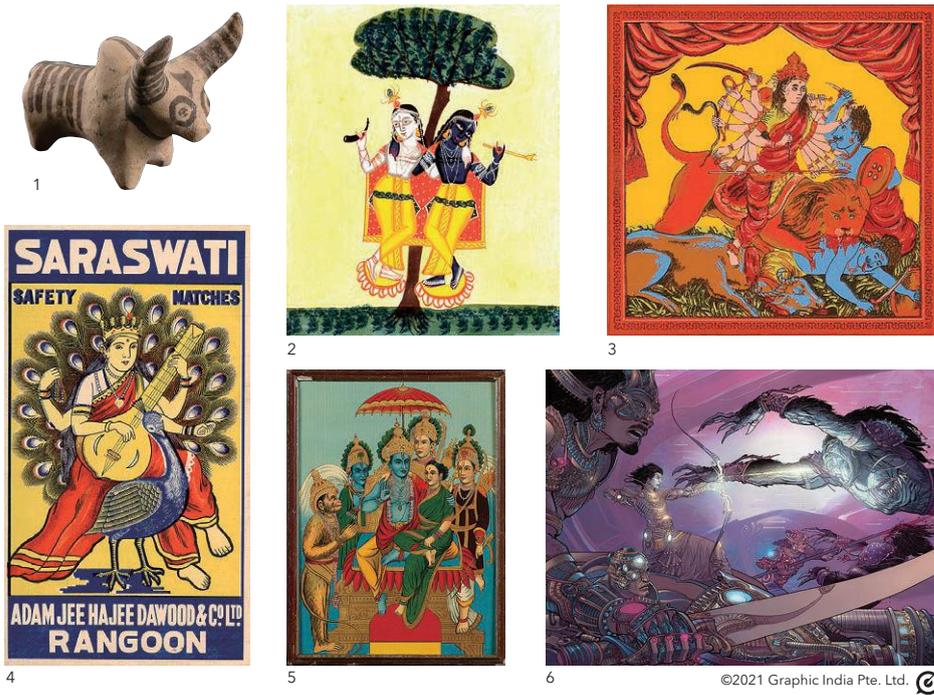
ヒンドゥーの神々といえば、どのような姿を思い浮かべるでしょうか。たとえば、破壊と創造の神シヴァ、変幻自在な神ヴィシュヌ、美しい女神ラクシュミーなど、神話とともに伝えられてきたその姿と超絶パワーは、古代から人々の熱烈な信仰を集めてきました。果たしてこうした神々のイメージは、いつ・どのようにして広がったのでしょうか。

本展は、長年にわたりインド大衆宗教図像を蒐集してきた黒田豊コレクションを核に、福岡アジア美術館、古代オリエント博物館、平山郁夫シルクロード美術館などのコレクションを加え、ヒンドゥーの神々のイメージの変遷を古代から現代までたどる展覧会です。

古くは先史インダス文明の出土品や女神像にはじまり、17世紀以降の優美なインド更紗やガラス絵、大衆文化を彩った民俗画、ヴァルマー・プリントと呼ばれる印刷物、現代イラストレーションなど、出品作品は立体・絵画・印刷物・写真など500以上に及びます。また、こうした神々のイメージは、時代とともに表現される素材・技法・メディアが異なり、それを礼拝する人々の信仰のありようも変化してきました。

本展では、これらの貴重な作品・資料を通して、インド文化の基盤となり、篤く信仰されてきたヒンドゥーの神々とその豊穡なる世界像をさまざまな角度から紹介します。

- 序章** インド世界の誕生—土・石・金属の造形
- 第1章** 煌びやかなイメージ—更紗・細密画・ガラス
- 第2章** 民衆に愛される神々—民俗画・刺繍・祭り
- 第3章** 印刷術とグローバル時代の到来—書物・オレオグラフ・陶磁器  
◇日本・ヨーロッパから輸出された品々
- 第4章** ヒンドゥーの神々の諸相  
◇ヴィシュヌ神と叙事詩 ◇シヴァ神とその眷属 ◇女神とアプサラス
- 第5章** 21世紀へ—物語は語り継がれる



1.《コブウシ土偶》前2200-前2000年、古代オリエント博物館 2.《クリシュナとバララーマ》19世紀後半  
3.《ドゥルガー》20世紀前半、黒田豊コレクション 4.《サラスワティ》19世紀末～20世紀初め、黒田豊コレクション  
5.《ラーマの一族》20世紀前半、福岡アジア美術館(黒田豊コレクション) 6.ムケシュ・シン《18日間》2010年、作家蔵  
[表面掲載作品(左上より時計回り)] 1.《シヴァ》20世紀前半、黒田豊コレクション 2.T.K. プットゥサミ《ヴィシュヴァールーパ》19世紀末-20世紀前半 3.《シヴァ》19世紀末、黒田豊コレクション 4.ラージャー・ラヴィ・ヴァルマー《ラクシュミー》19世紀末-20世紀前半 5.《クリシュナとカーリヤ》19世紀末-20世紀前半 6.《ハヌマーン》19世紀末-20世紀前半 7.《シヴァ》19世紀末-20世紀初頭、福岡アジア美術館(黒田豊コレクション)  
8.《女性奉獻版》前100-後100年頃、平山郁夫シルクロード美術館 ※所蔵先表記のない場合は、福岡アジア美術館の所蔵

ヒンドゥー教の世界を知る講座

神々とともにある暮らし  
—現代ヒンドゥー教徒の生活の現場から—

ヒンドゥー教の神がみの絵画や像が、庶民の生活の現場で「生きて」いる姿を紹介し、現代ヒンドゥー教徒の暮らしや世界観に迫ります。  
日時 | 7月23日(土) 13時30分-15時30分  
場所 | オリエント美術館地下講堂  
講師 | 三尾稔さん(国立民族学博物館教授)  
聴講料 | 500円(友の会会員300円) ※要申込

インド美術のおもしろ裏ばなし

多彩な姿で表現されてきたヒンドゥーの神がみ。その裏側で作り手たちはどのように神話世界を造形化してきたのでしょうか。19世紀以降のガラス絵や石版画など、その時代背景とともに解説します。  
日時 | 8月27日(土) 13時30分-15時30分  
場所 | オリエント美術館地下講堂  
講師 | 中尾智路さん(福岡アジア美術館学芸員)  
聴講料 | 500円(友の会会員300円) ※要申込

踊りでみるヒンドゥー神話の世界

ヒンドゥーの神話世界をモチーフにしたインド古典舞踊の公演を開催します。

神話を踊る

日時 | 7月18日(月・海の日) 11時-、14時-(各回30分程度) ※申込不要、入館料のみ  
踊り | 福田麻紀さん(バラタナティヤム・ダンサー)

和の架け橋—能舞台で舞うインド古典舞踊—

日時 | 9月10日(土) 15時-16時40分  
場所 | 能楽堂ホールtenjin9(岡山市北区天神町9-24)  
※要申込、無料  
踊り | Nalini Toshniwalさん(舞踊家)、  
金澤倫子さん(南インド古典舞踊家)

その他のイベント

ヒンドゥーの神さま缶バッジをつくろう!

神さまぬり絵に自分で色をつけてオリジナル缶バッジを作ります。  
日時 | 8月の土曜日・日曜日 13時30分-15時30分  
※申込不要、入館料+材料費100円

学芸員によるギャラリートーク

学芸員が展覧会をご案内いたします。  
日時 | 7月16日(土)、8月7日(日)、20日(日)  
14時-15時 ※申込不要、入館料のみ

イベントの詳細・実施については、  
当館および当館ホームページにて  
ご確認ください。-----▶



Okayama Orient Museum  
岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町 9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342  
9-31 Tenjin-cho, Okayama City, Japan <https://www.city.okayama.jp/orientmuseum/>

【交通案内】  
JR岡山駅東口より路面電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。  
JR岡山駅東口より徒歩15分。  
\*当館には来館者用駐車場はありませんが、市営天神町駐車場をご利用の場合、受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。

